



9月22日、学校に全学年の児童が戻ってきました。

9月7日に児童の陽性が確認されてから2週間たった9月22日(水)、学校に全学年がそろって、とても元気な姿や賑やかな声が戻ってきました。待ちに待ったという気がした全学年そろっての学校再開でした。翌日が秋分の日でお休みでしたから、子供たちも緊張感の中にもゆとりをもって登校できたのではないかと思います。保護者や地域の皆様も、いろんな心配をなさったことでしょう。不安な気持ちを抱かせてしまったことに心からお詫び申し上げます。心身の健康が一番です。子供たちの様子に気を配りながら見守っていきます。



【1年】 動画を見ながらラジオ体操



【2年】 国語で言葉遊び



【3年】 デイラン先生と外国語活動



【4年】 個性の伸長を図る道徳授業



【5年】 リレーの練習



【6年】 自分のペースで学習中

地域の方々が力を貸してくださることがとてもありがたいです。

9月20日(月)、「長老会」の方々が運動場付近と玄関付近を草刈りと剪定に汗を流してくださいました。本来ならば「敬老の日」として、私たちが高齢の方を敬う日なのに、「学校のために、子供たちのために」と集まって、暑い中、最後の後片付けまでとても頑張ってくださいました。

さらに、その活動を聞きつけた他のグループの方々も、「子供たちのために頑張りますばい」と10月2日(土)の活動を申し出てくださいました。



学校のスローガンに、「みんなに居場所のある学校」「地域とともにある学校」を掲げています。コロナ禍で今は自粛傾向ですが、学校に誰もが気軽に来れて、来たら居場所があって、楽しいなと思える、そんな学校を目指しています。

また、田浦地区は、以前から地域と学校が一体となって子供たちの教育に当たってきた先進地域です。次年度には、コミュニティスクールへの移行も予定されています。「地域とともにある学校」をこれからも推進していきます。これからもよろしく願います。

